



やすひさの瓦版

(第76号)
新春
特別号

2008年1月1日

自由民主党愛媛県第一選挙区支部長
衆議院議員 塩崎 恭久
〒790-0003 松山市三番町4-7-19
TEL 089(941)4843 FAX 089(941)4894

Home-page <http://www.y-shiozaki.or.jp>

E-mail shiozaki@y-shiozaki.or.jp

恭賀新年



新年明けましておめでとうございます。

昨年も大変お世話になりました。内閣官房長官在任時を含め、温かいご指導、ご支援に心から感謝申し上げます。参院選を契機に、様々な問題点が改めて浮き彫りになっています。今年は、一政治家として政治の原点に立ち返り、直接対話を大切にしながらかつ切実な声に耳を傾け、政策実現に向け全力投球する覚悟です。引き続きのご指導をお願い申し上げます。

原点に立ち返り、新たなスタートを

暮らし、世界を大切にする政治を

衆参両院の間における与野党の大きな「ねじれ」を抱えつつ、通常国会が始まります。

テロとの戦いを含め、日本が世界から期待されている役割や責任を国内政治を超えてきちんと果たさねばならないことは、与野党を問わず良識ある国会議員は認識を一にしつつあると思います。政争のために非現実的な議論に終始するのではなく、成熟した民主主義国家として、現実的に即した政策議論の上で答えを出し、

日本が世界に対しリーダーシップを発揮しながら平和貢献をする、との責務を果たしていくべきです。

国内問題についても予算案そのものは衆議院の意志が優先しますが、両院通過が不可欠の税法など予算関連重要法案が成立しなければ予算執行が困難になります。予算は国民生活そのもの。新年度がスムーズにスタートできるよう、与野党が熟慮の上で様々な課題に結論を出していかなければなりません。折しも原油価格高騰が国民生活を脅かしつつある中、道路特定財源問題など

は、細心の注意を払って国会としての意志決定を行い、国民生活の無用な混乱を回避しなければなりません。

まずはムダを排し、経済成長を

昨年末、財政再建路線に関連して「増税再建派」vs「成長再建派」との論争がありました。約770兆円に上る国・地方の借金を税金で返さなければならぬ、という動かぬ現実を踏まえれば、①まずはムダを排し、②経済成長による増収を図り、③その上でどうしても足りない部分について最小限の増

税の可能性について国民と共に議論する、という順序が自然でしょう。

予算のムダや独法のムダなどは不断のチェックに晒さねばなりませんし、国会議員定数は大幅に削減すべきです。議員宿舎も不要。また、かねてから私が主張してきたように、国家資産運用の利回りも、安全性に配慮しながら格段に上げるべきです。

当然、IT化、教育改革、研究開発促進政策など幅広い政策で日本経済全体の成長力強化、生産性向上を図ることは待ったなしです。

年金制度等に関する与野党協議を

しかし、国民は、安心、安全の元である社会保障制度、中でも年金制度に関して納得がいかなければ、財政再建、とりわけ増税には協力できないでしょう。今の政治情勢を考えれば、与野党、中でも民主党との間で、少子高齢社会における年金・医療などの社会保障制度に関する

腹を割った議論をすぐにでも開始すべきです。スウェーデンの例に学ぶべきでしょう。福田首相も、社会保障制度に関する国民会議開催を提案しています。年金制度等についての国民合意なしでは、何事も前進しません。

原点から、フレッシュ・スタート

今年は子(ね)の年。十二支のはじめの年です。また、7



日本、愛媛、松山の未来は皆さんのもの！若者パワー全開
(松山東雲女子大学学園祭にて・11/4)

月には地球温暖化問題などが議論され、日本のリーダーシップが問われる洞爺湖サミットが開催される大事な年。難しい政治情勢ですが、国内外に山積する待ったなしの課題を前に、私も今年は改めて政治の原点に立ち返り、柔軟な発想で新たなスタートを切って参りたいと思います。引き続きよろしくご指導下さい。



総務大臣 増田 寛也氏

■プロフィール

昭和52年3月 東京大学法学部卒業
4月 建設省入省
平成 7年4月 岩手県知事（～19年4月）
18年4月 郵政民営化委員会委員
19年4月 地方分権改革推進委員会
委員長代理
8月 総務大臣

地域資源をテコに地方を再生 ～政治が夢実現の責任を

りません。県よりも市町村にお金が多く回り、過疎地域などフットコリ具合が厳しい地域も「国は支援します」というメッセージが伝わるようにしました。

塩崎 なるほど。

増田 同時に、これからは県同士が一緒に打って出るとか、都道府県レベルで連携するようになっていくべきだと思います。

塩崎 都道府県を統合してより広域の自治体を作る「道州制」に向けての試みですね。

増田 例えば岩手県だけが中国に行っ

て何かするよりも、各県と一緒に東北の温泉やスキーリゾートを中国に売り込むとか。大きな自治体になれば国レベルの仕事もできるようになります。

今年 反転攻勢を

塩崎 うまくいかないことがあると後



地方活性化に全力

塩崎 明けておめでとうございます。昨年は参院選があり、いろいろな問題が浮き彫りになりました。やはり今年取り組まなければならない一番大事な課題の一つは、地方をどう明るく元気にしていくか、ということですね。増田さんは今の地方の現状と課題をどうご覧になっていますか。

増田 八月の就任以来、総務大臣の立場で全国を回ってきました。地方は全体的に元気を失っている印象が強いですが、中にはそうでない

い所もあります。例えば愛媛では今治市に参りましたが、造船は元気で、日本人の長所は几帳面なところ。そうして、人材育成をきちんと地元でやっている所は元々ある。ただ、そうでない場合も沢山あります。原因は二つあって、一つは地方における高齢化。子ども

は、松山空港の沖合に、新鮮で美味しいタコで有名な釣島という島があります。官房長官を終え、秋の運動会に行ってきたが、今年

総務大臣
内閣府特命担当大臣（地方分権改革）
地方・都市格差是正担当
道州制担当
郵政民営化担当

増田 寛也氏

新春対談

たちがみんな都会に出てしまっている。もう一つは地方には農業、漁業といった第一次産業が多いわけですが、いずれも厳しい状況に置かれている。

塩崎 確かに地方

での高齢化と第一次産業の問題は、私も

地元のことは自分達の手で

増田 やはり農業や漁業なども産業として地道に育てていくのが大事ですね。

塩崎 その通りです。いずれの問題も最近出てきたものではなく、ずっと前から続いている原因がある。きちんとした診断でその原因を見極めて治療しないと

いけません。治療法を間違えてはいけません。増田さんは岩手県知事もおやりになられて、どう地方を盛り立てていくべきとお考えですか。

増田 やはり地元のことをよく分かっているのは、そこに住む人たちです。地方の知恵を引

き出すために、そこの人々が自主性や独自性を発揮できる仕組みを作ることです。中央集権でなく地方が権限や財源、そして責任を持つてもらうことが一番大事です。

右肩上がりの高度成長期は中央が地方のことまで決めて良かったのかも知れませんが、いまは人口も減るし、フットコリ事情も厳しい。その制約の中で本当に国を良くするには、地方のことは地方に任せることが大切です。それを中央の役人任せにするのでなく、やはり政治家が責任を持つてやっていくことです。

塩崎 なるほど。東京への一極集中が進みすぎています。欧米はそれぞれの州や地域が特徴を持つて発展しているように見える。私も官房長官として、地方の中小企業を立て直したり、働いている人の能力を高めたりする

る「成長力底上げ戦略」という対策を作りました。中小企業の再生を手助けする「地域力再生機構」も間もなくできます。

増田 それぞれの地域には特色のある産業があります。それを伸ばす経済政策と体制整備の両方をやらないといけません。体制整備というのは例えば銀行の不良債権先企業の再生を手助けする地域力再生機構のようなものが考えられる。地方の人が行政をきちんと監視し、信頼できる地方政府を作

都道府県同士の協力も

塩崎 我々は「三位一体改革」によって財政的に苦しくなった、といわれる地方財政を緊急的に応援するため、東京や愛知、大阪など大都市に集まりがちな税収を地方に回そうとしています。

増田 新しい予算づくりにあたっては、その大都市に偏りがちな税の仕組みそのものを正そうと考えています。東京にばかりお金が集まるような形にせず、市町村にもきちんと税収が回るような仕組みにしなければな



～今、求められている政治とは～

— 山本一太参議院議員と語る —

11月10日、山本一太参議院議員の参加を得て、「フォーラム21」と「明恭会総会」を開催致しました。

第18回「フォーラム21」

山本一太参議院議員をパネリストに招き、約250名の幅広い年齢層や職業の皆様にご参加頂きました。安倍内閣の実績と反省点、参院選の総括、社会保障や雇用など国民一人一人が抱える諸問題について熱い議論を交わしました。



元氣な日本を創るために地域に活力を与える政策を打ち出していかなければなりません。

第8回「明恭会総会」

恒例の明恭会総会も続いて開催。ゲストの山本一太議員は講演の中で、ねじれ国会、大連立をはじめとする政局の裏話やその見通しなどを、山本議員ならではの情報や迫力で聴衆を魅了しました。

懇親会では、参加者の皆様と忌憚りの無い意見交換の場が持てました。





アロハー！私も飛び入りでエルヴィス・プレスリーの「好きにならずにいられない」を熱唱♪ (12/16)



JA松山久米支所農業祭にお邪魔。採れたての野菜・花の販売、うどん・寿司のバザーと、私は、童心に返りチャレンジダーツに挑戦！ (11/25)



柳井町商店街に若者グループが作った地産地消の店「地参地笑市」がオープン。頑張ろう、若者達！ (11/25)

松山大学にて環境を語る



その後の茶話会では、直接学生の皆さんから、年金問題をはじめ様々な事柄について熱い意見や抱えている悩みなどを聞く。次世代を担う若者のために、頑張ろう！ (松山大学・12/15)

地球温暖化問題について約200名の松山大学の学生を前に講義。バリ島で行われていたCOP13会合での最終合意などを交え、今後日本がリーダーシップをとるべき地球温暖化対策の国際戦略などについて話しました。



韓国、ソウル出張

11月18日～20日



一昨年11月の訪日時、首相官邸でお目にかかったイ・ミョンバク氏（大統領当選者）と会談。大統領選挙を丁度1ヶ月後に控えながら、貴重な時間を頂き意見交換。静かながらも、奥に秘めたパワーを感じる。(ソウル・11/20)



第25回石井地区農業祭後の慰労会において、地域に根差した農業の発展について語りあう。(12/2)



松山青色申告会青年部主要メンバーと個人事業の承継税制や消費税など、現場の切実な声を聞く。「法人」とのアンバランス解消のための努力を約束。(11/17)



地元建設関係者のみなさんと、建設業界を取り巻く様々な厳しい問題について、率直に語りあう。(12/3)

「塩崎やすひさ新春の集い」のご案内

下記の通り、渡辺喜美代議士（内閣府特命担当大臣）をお迎えし、恒例の新春の集いを開催致します。皆様お誘い合わせの上、どうぞ奮ってご参加下さい。

日時：平成20年1月5日（土）
12：30～14：30

場所：愛媛県県民文化会館（真珠の間）
会費：2,000円

！新後援会が発足致しました！

きょうゆう かい
「恭友会」

私たち、20代中心の仲間で塩崎先生と様々な事を共有出来る、元気な会を作ります。宜しくお願いします。

会長
白石絵津子

あいきよう かい
「愛恭会」

この度、建築士事務所に関わるものが中心となって、塩崎先生と共に政治を学び、親睦と融和を図ることを目的に設立致しました。

会長
高橋浩一郎

広報板設置のお願い

「塩崎恭久支部長」名入り自民党広報板（写真）の設置をお願いしております。ご自宅、職場、駐車場、私有地などの壁や塀などの設置場所に、スタッフが設置させて頂きます。

お問い合わせ先
TEL 089-941-4843
担当：森田、望月



サイズ：90cm×90cm